

表-6.9.2(4) 重要な動物種の確認状況 (その5)

++:2~10個体未満 +++:10~100個体未満 ++++:100個体以上

No.	種	全個体数	改変区域内での確認個体数				小計	消失なし	造成による生息個体の消失について
			空港施設予定地	航空障害灯予定地	VOR/DME予定地				
35	ヒメイトトンボ	幼虫	5	0	0	0	0	消失なし	キツヌグスク北側の沢で5個体が確認されたが、改変区域には含まれていないことから、造成による消失はない。
36	マサキリモントンボ	成虫	10	0	1	0	1	消失なし (移動能力が高い)	カタフタ山山頂部及びその北東側斜面の沢、カタフタ山北側の道路脇の山地林、10個体の成虫が確認された。このうち、改変区域内では、航空障害灯予定地のカタフタ山山頂部で1個体が確認されたが、飛翔による移動能力が高く、改変区域周辺に移動可能な樹林地が存在するため、造成による消失はないものと考えられる。また、改変区域外のカタフタ山北東側斜面の沢、カタフタ山北側の道路脇の山地林で確認された9個体についても、造成による消失はない。
		幼虫	+++	+++	0	0	+++	一部消失あり	ゴルフ場北側の沢、ゴルフ場内調整池、キツヌグスク北側の沢、轟川中流域で数十個体が確認された。このうち、改変区域内のゴルフ場北側の沢、ゴルフ場内調整池で確認された十数個体は空港施設の造成により消失するが、改変区域外のキツヌグスク北側の沢及び轟川中流で確認された十数個体については、造成による消失はない。
37	チビカワトンボ	成虫	1	0	0	0	0	消失なし	カタフタ山北東側斜面の沢で1個体が確認されたが、改変区域には含まれていないことから、造成による消失はない。
38	コナカハグロトンボ	成虫	66	8	0	0	8	消失なし (移動能力が高い)	カラ岳東側の沢、キツヌグスク北側の沢、轟川上流周辺の山地林及び湿地等で66個体が確認された。このうち、改変区域内の空港施設予定地のカラ岳東側の沢で8個体が確認されたが、飛翔による移動能力が高く、改変区域周辺に移動可能な樹林地が存在するため、造成による消失はないものと考えられる。また、改変区域外のキツヌグスク北側の沢、轟川上流周辺の山地林及び湿地等で確認された58個体についても、造成による消失はない。
		幼虫	+++	1	0	0	1	一部消失あり	カラ岳東側の沢、ゴルフ場北側の沢、通路川下流、キツヌグスク北側の沢、轟川上流～中流等で数十個体が確認された。このうち、改変区域内のゴルフ場北側の沢で確認された1個体は空港施設の造成により消失するが、改変区域外のカラ岳東側の沢、通路川下流、キツヌグスク北側の沢、轟川上流～中流等で確認された数十個体については、造成による消失はない。
39	クワイワカトンボ	成虫	2	0	1	0	1	消失なし (移動能力が高い)	カタフタ山山頂部及びカタフタ山北側の道路脇の山地林で2個体が確認された。このうち、改変区域内では、航空障害灯予定地のカタフタ山山頂部で1個体が確認されたが、飛翔による移動能力が高く、改変区域周辺に移動可能な樹林地が存在するため、造成による消失はないものと考えられる。また、改変区域外のカタフタ山北側の道路脇の山地林で確認された1個体についても、造成による消失はない。
40	ヤエヤマサナエ	成虫	8	0	0	0	0	消失なし	キツヌグスク北側の沢で8個体が確認されたが、改変区域には含まれていないことから、造成による消失はない。
		幼虫	++++	+++	0	0	+++	一部消失あり	カラ岳東側の沢、ゴルフ場北側の沢、ゴルフ場内調整池、通路川下流、キツヌグスク北側の沢、轟川上流～下流で100個体以上が確認された。このうち、改変区域内のゴルフ場北側の沢、ゴルフ場内調整池で確認された十数個体は空港施設の造成により消失するが、改変区域外のカラ岳東側の沢、通路川下流、キツヌグスク北側の沢、轟川上流～下流で確認された100個体以上については、造成による消失はない。
41	ヒメソサナエ	成虫	7	0	0	0	0	消失なし	カタフタ山北東側斜面の沢、カタフタ山東側斜面、カタフタ山北側の道路脇の山地林で7個体が確認されたが、改変区域には含まれていないことから、造成による消失はない。
		幼虫	2	0	0	0	0	消失なし	通路川下流で2個体が確認されたが、改変区域には含まれていないことから、造成による消失はない。
42	ミナミトンボ	幼虫	++	1	0	0	1	一部消失あり	ゴルフ場内調整池及び轟川中流で数個体が確認された。このうち、改変区域内のゴルフ場内調整池で確認された1個体は、空港施設の造成により消失するが、改変区域外の轟川中流で確認された1個体については、造成による消失はない。
43	ヒナヤマトンボ	幼虫	1	0	0	0	0	消失なし	轟川上流で1個体が確認されたが、改変区域には含まれていないことから、造成による消失はない。
44	リュウキウマツムシ		5	0	0	0	0	消失なし	カタフタ山北東側斜面の沢及び轟川上流周辺の湿地で5個体が確認されたが、改変区域には含まれていないことから、造成による消失はない。